

日本と韓国で人気の女性作家による、  
自作朗読と鼎談

# ことばの 調べに のせて

朗読

江國香織『号泣する準備はできていた』から  
「前進、もしくは前進のように思われるもの」

鄭梨賢『今日のウン』から

「三豊百貨店」

鼎談

江國香織、鄭梨賢、辻原登

## 出演



### 江國香織

えくに・かおり

1987年『草之丞の話』で、はないちもんめ「小さな童話」大賞、1992年『きらきらひかる』で紫式部文学賞、2002年『泳ぐのに、安全でも適切でもありません』で山本周五郎賞、2004年『号泣する準備はできていた』で直木賞、2010年『真昼なのに昏い部屋』で中央公論文芸賞、2012年「犬とハモニカ」で川端康成文学賞など、数多くの文学賞を受賞。ほかに『抱擁、あるいはライスには塩を』『左岸』『はだかんぼうたち』など著書多数。小説のほか、童話、エッセイ、詩、翻訳など多方面で執筆活動を行う。韓国でも、『きらきらひかる』『東京タワー』、辻仁成との共作『冷静と情熱のあいだ』など、数多くの作品が翻訳刊行され、現代日本を代表する作家として人気が高い。

### 鄭梨賢

チョン・イヒョン

現代韓国を代表する女性作家。韓日文化交流会議委員。2002年「文学と社会」新文学賞を短編「ロマンチックな愛と社会」で受賞し、作家活動を始める。2003年小説集『ロマンチックな愛と社会』、2006年朝鮮日報に連載した長編『マイスウィートソウル』を刊行し、日本でも翻訳される。2004年『他人の孤独』でイ・ヒョク文学賞、2006年「三豊百貨店」で現代文学賞、今日の若い作家賞などを受賞。ほかに、2007年小説『今日のウン』、2009年長編『あなたは知らない』、2012年イギリスの作家アーリング・デュ・ボトンとの共著『愛の基礎：恋人たち』、2013年長編『アンニョン、わたしのすべてのもの』がある。そのほか、朝鮮日報、東亜日報、ハンギョレ新聞、文化日報などにコラムを連載。



### 辻原登

つじはら・のぼる

作家、日韓文化交流会議委員。1945年和歌山県生まれ。1990年「村の名前」で芥川賞、2000年『遊動亭円木』で谷崎潤一郎賞、2010年『許されざる者』で毎日芸術賞。近作に『闇の奥』『鞭鞭の馬』『冬の旅』などがある。2012年から神奈川近代文学館館長。

2013年 **12月15日(日)**

午後1時30分開演(午後1時開場)

会場 **神奈川近代文学館**

展示館2階ホール(定員220名)

入場無料

## お申込方法

電話で神奈川近代文学館(045-622-6666/受付時間:午前9時30分~午後5時30分 ※但し月曜除く)または日韓文化交流基金(03-5472-4323/受付時間:平日の午前9時30分~午後5時30分)まで **お名前・電話番号**をお知らせください。先着順で定員になり次第締め切ります。

主催:日韓文化交流会議 共催:(公財)日韓文化交流基金、県立神奈川近代文学館・(公財)神奈川文学振興会  
後援:外務省・駐横浜大韓民国総領事館

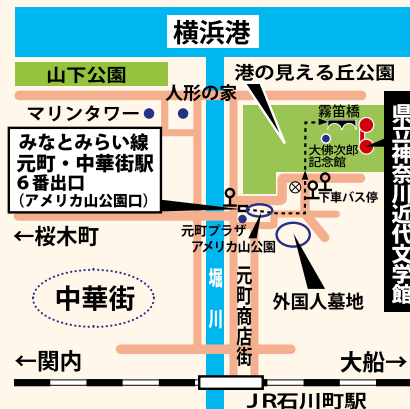
横浜・山手 港の見える丘公園 Kanagawa Museum of Modern Literature

# 県立神奈川近代文学館

〒231-0862 横浜市中区山手町110  
tel. 045-622-6666  
http://www.kanabun.or.jp

## ACCESS GUIDE

〈東急横線直通・みなとみらい線〉元町・中華街駅下車 6番出口(アメリカ山公園口)から徒歩10分  
〈バス〉神奈川中央交通①系:桜木町駅~保土ヶ谷駅/横浜市営バス②系:桜木町駅~山手駅/観光スポット周遊バス「あかいくつ」:桜木町駅~港の見える丘公園(中華街・元町ルート) いずれも「港の見える丘公園」下車、徒歩3分  
〈JR根岸線〉石川町駅下車 元町口(南口)から徒歩20分



駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください。